

保護者の皆様

札幌市立拓北小学校
校長 割石 隆浩

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果概要および今後の方向性

厳寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年4月に全国の6年生を対象にした全国学力・学習状況調査を実施しました。本校に関わる調査結果と今後の方向性についてご報告いたします。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の部分であり、学校における教育活動の一側面ということをご理解ください。

【質問紙調査】

肯定的な回答をした児童の割合が全国平均を特に上回っている項目

- 算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- 算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか
- 自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがあります
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

肯定的な回答をした児童の割合が全国平均を下回っている項目

- 人が困っているときは、進んで助けていますか
- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、友達と協力しながら学習を進めることができましたか
- 国語の勉強は大切だと思いますか
- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
- 国語の授業の内容はよく分かりますか
- 算数の授業の内容はよく分かりますか

学
ぶ
力

- ・一つの物事や問題に対して様々な角度から考えたり、分からないことなどを自分なりに工夫して学ぼうとしたり、主体的に学ぶ姿勢が身に付いていることが表れています。
- ・情報機器の使い方について、約束を守りながら活用できています。情報モラルが身に付いている表れです。ご家庭におけるご協力にお礼申し上げます。今後も引き続き、ご協力をお願いいたします。
- ・国語、算数ともに、「内容がよく分かるか」という項目が全国平均より下回っています。基礎基本の定着も大切にしていきます。

豊
か
な
心

- ・「学校に行くことが楽しいか」という項目では肯定的な回答の割合が全国平均を上回っています。今後も、子どもが安心できる楽しい学校づくりを進めていきます。
- ・「人が困っているときに助けているか」という項目は全国平均を下回っています。今後も、子ども同士の関わりの場を創出していきます。

健
や
か
な
体

- ・「朝食を毎日食べているか」や「毎日、同じくらいの時刻に寝ているか」という項目では、昨年度に引き続き、肯定的な回答の割合が全国平均を上回っています。ご家庭における正しい生活習慣の定着に感謝申し上げます。今後も引き続き、ご協力をお願いいたします。

【小学校国語】

本校の概要

【学習指導要領の内容】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

▼全国平均を下回っている。

「情報の扱い方に関する事項」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「我が国の言語文化に関する事項」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「話すこと・聞くこと」

▼全国平均を下回っている。

「書くこと」

▼全国平均を下回っている。

「読むこと」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

➤学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

➤情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

➤日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くこと。

➤目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。

➤目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

➤人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

改善の方向

➤習った漢字を文や文章の中で使おうとする習慣を身に付けるようにする。また、高学年になるにつれ、漢字による熟語などの語句の使用が一層増加するため、漢字のもつ意味を考えて使う習慣が身に付くようにする。

➤様々な図示の方法に触れることを通して、児童がそれぞれの方法で考えを明確にしたり思考をまとめたりすることができることを理解し、使うことができるようにする。

➤国語科における「読むこと」の学習と、「朝読書」等の取組を関連させ、日常的に読書に親しむことができるようにする。その際、読んだ本を記録化し、見返すなどして、児童自身の気付きを引き出す学習場面を設定する。

➤伝え合う内容を検討する際に、自分が伝えたいことと聞き手の求めていることに応じて情報を整理するとともに、学習活動を振り返る場面を設定し、情報を整理することのよさを考えることができるようにする。

➤文章を書く目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、客観的な事実を取り上げることで考えをより深めていくことができるようにする。

➤児童それぞれの心に残ったところとその理由を友達と交流することにより、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにする。

【小学校算数】

本校の概要

【学習指導要領の領域】

「数と計算」

▼全国平均を下回っている。

「図形」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「変化と関係」

▼全国平均を下回っている。

「データの活用」

▼全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

▶計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。

▶角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述すること。

▶速さの意味について理解すること。

▶円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ること。

改善の方向

▶具体的な場面を設定し、それを図や絵で表す活動を通して、計算に関して成り立つ性質を活用していることを、図や式と場面とを関連付けて理解できるようにする。さらに、答えの求め方について、筋道を立てて説明できるようにする。

▶いくつかの種類の角柱を観察し分類する活動を取り入れ、その際に、底面の形の違いに着目できるようにする。底面が三角形の場合は三角柱、四角形の場合は四角柱、五角形の場合は五角柱となることや、側面の形は全て正方形や長方形であることに気付くことができるようにする。

▶具体的な場面を設定し、速さを求める活動の際に、道のりの長さや時間など、情報を収集したり整理したりするなど、その関係を丁寧に絵や図で表す活動を取り入れる。絵や図と式を関係付けることで、筋道立てて答えを求めることができるようにする。

▶円グラフの特徴や割合の読み取り方を説明し合う活動を取り入れる。その際、目盛りを5%ずつ数えていく方法、項目と項目の区切りの数値を読み取って計算する方法など、必要に応じて様々な方法を使い分けながら、割合を読み取ることができるようにする。